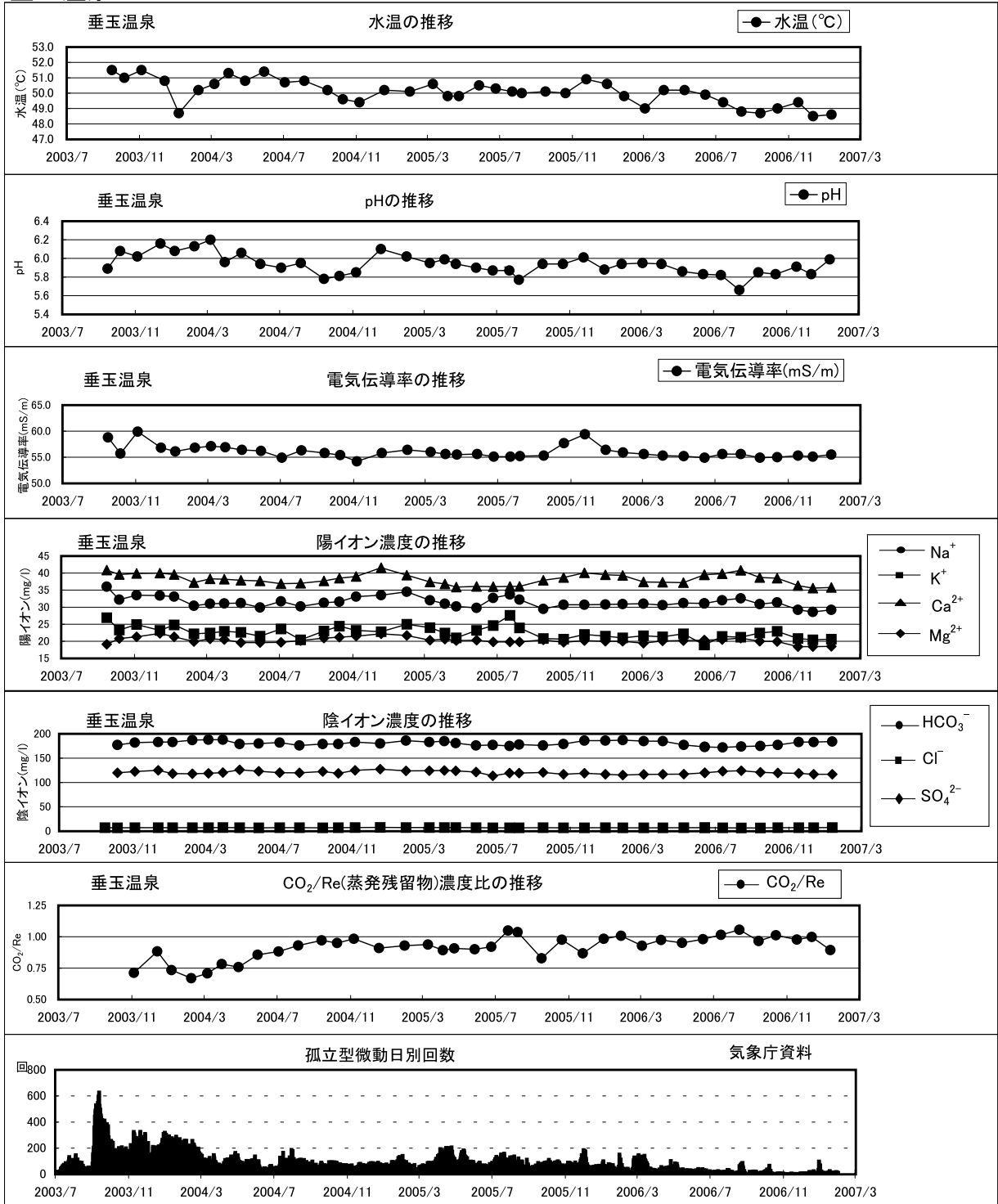


垂玉温泉



阿蘇垂玉温泉山口旅館(本湯)の水温・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移 (孤立型微動日別回数は気象庁資料)

2006年3月頃から吉岡の噴気活動が活発化した(京大資料など)が、噴気の約1.3km南方に位置する垂玉温泉の主要化学成分や二酸化炭素濃度には有意な変化は見られなかった。

柘ノ木温泉と垂玉温泉の溶存二酸化炭素相対濃度(二酸化炭素濃度/蒸発残留物濃度)は、2004年の夏以降、若干の変動はあるが、やや高いレベルを維持している。